

製品安全データシート

作成 2008年 6月 5日

1. 製品及び会社情報

製品の名称	ポリティッシュ
会社名	福助工業株式会社
住所	愛媛県四国中央市村松町190番地
電話番号	(0896) 24-1111
緊急連絡電話番号	製造技術部 (0896) 24-4417
ファックス番号	製造技術部 (0896) 24-1129

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響	生理学的に不活性であり、通常の状態では特に有害性はない。
人の健康に対する有害性	
環境への影響	環境において長時間分解しない。野外に漏出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため廃棄や漏出には注意を要す。
物理的及び化学的危険性	通常の状態では危険な反応や火災爆発を起こす事はない。
GHS分類	適用範囲外。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名	ポリエチレン(主成分；エチレン・1-ブテン共重合体、エチレン・1-ヘキセン共重合体)
化学式又は構造式	$-(CH_2-CH_2)_1-(CH(C_2H_5)-CH_2)_m-$ $-(CH_2-CH_2)_1-(CH(C_4H_9)-CH_2)_m-$
濃度	99%以上
官報公示整理番号	6-18 (化審法、安衛法), 6-1594 (化審法)
CAS No	25087-34-7, 25213-02-9
危険有害成分	化学物質管理促進法 (PRT法) 第一種(1%以上, 第一種指定化学物質 0.1%以上) 該当なし 第二種(1%以上) 該当なし 労働安全衛生法文書交付対象物質 該当なし 毒物及び劇物取締法 毒物・劇物 該当なし 特定毒物 該当なし

4. 応急処置

情報	
吸入した場合	通常の雰囲気では揮発しない。 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した場合には、新鮮な空気のある場所に移す。咳、呼吸困難、又はその他の症状が出る場合には、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹸、水で洗い流す。溶融樹脂が付着した場合には、素早く大量の水で冷やす。火傷の程度により医師の診断を

目に入った場合

受ける。
眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で15分以上洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

危険な物質ではないが、直ちに出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

大火災では、水噴霧・アルコールタイプ又は汎用タイプの泡消火剤を、メーカーの推奨する方法で使用する。小火災では、水噴霧・二酸化炭素又は粉末消火剤を使用する。水には冷却効果があり、消火には有効であるが、熔融した樹脂にホース等で直接かけると、熔融樹脂が飛び散り、火災が広がる恐れがあるので注意が必要である。

特定の消火方法

消火するときは空気呼吸器や保護具を着用すること。燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物等を生成する。

消火を行う者の保護
特定危険有害性

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
環境に対する注意事項

特に危険な物質ではない。
排水系等の水面へ漏出した場合は、鳥類、魚類への悪影響もあるので、全て回収する。
飛散物を掃き集め、適切な方法で廃棄又は焼却する。

除去方法

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

歩行中にフィルムを踏みつけた場合は、転倒の恐れがある為に、歩行域にはフィルムを取り除くように注意する。フィルムに印刷等の加工を行う場合は、静電気等により引火の可能性がある為に、静電気除去装置を適切な場所に設置する必要がある。
フィルムで顔、頭を覆うと、窒息の恐れがあるので、決して行わない。
火源、熱源、強酸化剤との接触は、厳禁。
荷崩れ防止等、一般的な取扱い上の注意をする。
屋内倉庫で、直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避け、衛生的に保管することが望ましい。貯蔵場所では、みだりに火気を使用しない。製品が固着を起こす場合もあるので、過大な積み重ねは避ける。

保管

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策
管理濃度
許容濃度

特になし。
未設定。
日本産業衛生学会、ACGIHでは、この物質の許容濃度を設定していない。
ポリエチレンには、確立された暴露限界濃度の定めはないが、ポリエチレン粉塵は有害粒子として取扱い、吸入を避けることが妥当と考える。
以下に粉塵許容濃度の勧告値を参考までに示す。

ポリエチレン	許容濃度 mg/m ³ (TWA)	
	吸入性粉塵	総粉塵
日本産業衛生学会 (2007 年度) (第3種粉塵)	2	8
ACGIH (2004 年度) (一般粉塵)	3	10

保護具

必要に応じ適宜、安全靴、安全帽子（ヘルメット）、手袋等の保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

フィルム

色

ナチュラル(半透明)

臭い

ほとんど無臭に近い

pH

該当しない

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

融点

125～140℃

発火点

400℃以上（推定）

密度

0.94～0.97 g/cm³

溶媒に対する溶解性

水に対して不溶

10. 安定性及び反応性

安定性

化学的に安定した物質であり、爆発性はなく、他の物質との反応性もない。

特定条件下で生じる危険な反応

300℃以上の高温において分解し、炭化水素（一酸化炭素、二酸化炭素等）及びその酸化物（アルデヒド、酸、アルコール等）、その他の有機系の蒸気を発生する可能性がある。一酸化炭素は、吸入した場合、極めて有毒であり、二酸化炭素も、高濃度では窒息剤となる。燃焼時生成物への急激な過度の暴露は、呼吸器系に刺激を与えることがある。

避けるべき材料

強酸化剤。

危険有害な分解生成物

炭化水素及びその酸化物(アルデヒド、酸、アルコール等)などの有機系蒸気。

11. 有害性情報

急性毒性

ポリエチレンの生体に関する影響を見ると、ラットの経口投与によるLD₅₀算定が試みられたが、7.95g/kg以上の投与は事件操作上困難であり、またこの投与では、何ら毒性の兆候は見られず、体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。

皮膚腐食性・刺激性

通常の状態では皮膚に対する腐食性・刺激性はない。

眼に対する損傷・刺激性

通常の状態では眼に対する損傷・刺激性はない。

感作性・変異原性・生殖毒性

特に知見なし(特別な問題はないと考えている)。

発がん性

ポリエチレン；IARCの発がん性区分でグループ3（ヒトに対し発がん性について分類できない）に分類されている。

12. 環境影響情報

分解性

環境に於いて長期間分解しない。

生体蓄積性・その他

海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも、放棄、放出してはならない。

13. 廃棄上の注意

埋め立てるときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法」に従って、公認の産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはその団体に委託して処理する。焼却するとき、焼却設備を用いて大気汚染防止法条例等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。

1 4. 輸送上の注意

梱包材が破れないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
火気、高温度の物体を避ける。

1 5. 適用法令

消防法	指定可燃物 合成樹脂類(指定数量3000kg)
化学物質管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
食品衛生法	食品衛生法に基づく昭和34年12月28日付け厚生省告示第370号規格試験に適合している。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物、廃プラスチック類
その他	関連法規については、本製品使用者の責任において遵守する。

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、上記情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご使用ください。
尚、上記の内容は、情報提供であって、品質を保証するものではありません。